

平成 19 年 度

山口県森林・林業統計要覧



山口県農林水産部森林企画課

山口県のシンボル

県木 アカマツ

県内に広く分布する山口県の代表的な樹種

(県木審査委員会選定 昭和41年9月14日指定)

県花 夏みかんの花

日本では山口県が原産地、芳香あり。

(NHK選定 昭和29年3月22日発表)

県鳥 ナベヅル

周南市八代に飛来、10～3月

(鳥獣審議会選定 昭和39年10月13日指定)

県獣 ホンシュウジカ

華山、天井ヶ岳周辺に生息

(鳥獣審議会選定 昭和39年10月13日指定)

県の魚 フク

県内で水揚げされる魚の代表種

(県の魚選定委員会選定 平成元年8月26日指定)

県のキノコ ベニヤマタケ(地方名:アカナバ)

秋吉台周辺で2～5月に発生、食用

(山口なばの会選定 平成10年1月15日発表)

利 用 者 の た め に

この統計要覧は、山口県の森林・林業の現況と平成19年度の林業関係諸施策の実績を農林水産部森林企画課、森林整備課、団体指導室、環境生活部自然保護課及び農林総合技術センター林業技術部の業務資料をもとに作成しております。

さらに詳細な数値が必要な場合又は疑義のある場合には下記の資料作成部署又は森林企画課森林計画班にお問い合わせください。

各統計の単位は、原則として表右肩に記載してあります。

表中の符号は次のとおりです。

「0」・・・・・・掲載単位以下

「-」・・・・・・該当なし

数字の単位未満は、四捨五入を原則としています。従いまして、総数と内訳の計が一致しない場合があります。

山口県森林・林業の概要・・・・・・・・・・森林企画課森林計画班(083-933-3455) 統計表

I	森林の現況・・・・・・・・・・	森林企画課森林計画班(083-933-3455)
II	森林計画・・・・・・・・・・	〃
III	森林整備地域活動支援交付金事業・・	〃
IV	やまぐち森林づくり県民税関連事業・・	森林企画課流域管理推進班(083-933-3464) 森林整備課造林保護班(083-933-3485) 森林整備課治山林道班(083-933-3491)
V	造林・・・・・・・・・・	森林整備課造林保護班(083-933-3485)
VI	県行造林・・・・・・・・・・	〃
VII	林産物生産・・・・・・・・・・	森林企画課林産班(083-933-3470)
VIII	林業構造改善・・・・・・・・・・	〃
IX	森林組合・・・・・・・・・・	団体指導室指導班(083-933-3318)
X	林業金融・・・・・・・・・・	森林企画課林業振興班(083-933-3450)
XI	森林被害・・・・・・・・・・	森林整備課造林保護班(083-933-3485)
XII	林業普及・・・・・・・・・・	森林企画課普及班(083-933-3460)
XIII	林道・・・・・・・・・・	森林整備課治山林道班(083-933-3491)
XIV	治山・・・・・・・・・・	〃
XV	保安林・・・・・・・・・・	森林整備課林地保全班(083-933-3480)
XVI	林地開発・・・・・・・・・・	〃
XVII	自然保護・・・・・・・・・・	自然保護課 自然・野生生物保護班(083-933-3050)
XVIII	鳥獣保護・・・・・・・・・・	〃
XIX	自然公園・・・・・・・・・・	自然保護課自然共生推進班(083-933-3060)
XX	研究・研修等・・・・・・・・・・	農林総合技術センター林業技術部(083-928-0131)
XXI	緑化技術指導・・・・・・・・・・	〃
XXII	山口県林務関係行政機関・・・・・・・・	森林企画課林業振興班(083-933-3450)
XXIII	平成19年度決算額・・・・・・・・・・	〃

目 次

山口県森林・林業の概要

1	森林資源の現況	1
(1)	土地利用	1
(2)	経営形態別森林面積	1
(3)	民有林の樹種別面積と蓄積	2
(4)	森林面積と蓄積の推移	3
(5)	人工林(スギ・ヒノキ)の齡級構成	5
2	造林等	6
(1)	造林	6
(2)	育成複層林の整備	6
(3)	間伐	7
3	林産物生産	8
(1)	木材生産	8
(2)	特用林産	9
4	森林組合	11
(1)	森林組合の概況	11
(2)	木材取扱量	11
(3)	森林造成事業	12
(4)	森林組合作業班	12
5	森林被害	13
(1)	マツ林面積と松くい虫被害	13
(2)	松くい虫防除事業の推移	13
6	林業普及	14
(1)	林業士及び林業作業士の認定状況	14
(2)	主要林業機械の保有状況	14
7	林道等	14
(1)	林道	14
(2)	作業道(路)	14
8	治山	15
(1)	治山事業の推移	15
(2)	生活環境保全林	15
9	保安林	16
10	その他	17
(1)	地域森林計画樹立状況	17
(2)	保有規模別林家数	17
(3)	森林施業計画の認定状況	17
	森林計画区、農林事務所管轄区域図	18
	自然環境保全施設等整備状況図	19

統計表

森林の現況

1	市町別土地利用状況及び林野率	21
2	市町別経営形態別森林面積	22
3	市町別樹種別民有林面積及び蓄積	24
4	森林資源構成表	26
(1)	総計	26
(2)	人工林	28
(3)	天然林	30
5	市町別地域森林計画対象森林の異動状況	32

森林計画

1	森林施業計画認定状況	33
2	市町別樹種別標準伐期齢	34
3	市町別の主伐を見合わせるべき立木の樹種別の林齢	35

森林整備地域活動支援交付金事業

1	交付実績	36
(1)	交付実績の推移	36
(2)	市町別交付実績	36

やまぐち森林づくり県民税関連事業

1	事業概要	37
2	事業実績	37
(1)	公益森林整備事業市町別実績	37
(2)	竹繁茂防止緊急対策事業市町別実績	38
ア	竹の全伐	38
イ	再生竹の除去	38
(3)	やすらぎの森整備事業実績	39
(4)	魚つき保安林等海岸林整備事業実績	39

造林

1	育成単層林整備	41
(1)	人工造林	41
ア	樹種別民有林人工造林面積の推移	41
イ	資金別人工造林面積の推移	41
ウ	施行主体別造林種別人工造林面積	41
エ	市町別造林実績	42
オ	施行主体別人工造林面積	44
カ	被害跡地造林実績	45
キ	松くい虫被害跡地復旧造林	46
(2)	保育	48
ア	補助事業実績の推移	48
イ	市町別補助事業実績	48
2	育成複層林整備	52
(1)	育成複層林整備(植栽型)	52
ア	資金別造林面積の推移	52
イ	市町別補助事業実績	52

(2) 育成複層林整備(天然更新型)	53
ア 資金別造林面積の推移	53
イ 市町別補助事業実績	53
(3) 保育	54
ア 市町別補助事業実績	54
3 造林作業路	56
(1) 事業別延長の推移	56
(2) 市町別事業別内訳	56
4 種苗	57
(1) 県営種子採取量の推移	57
(2) 樹種別山行苗木の生産量	57
(3) 樹種別山行苗木の所要量	57
(4) 経営規模別生産者数及び経営面積の推移	57
5 間伐	58
(1) 間伐実績の推移	58
(2) 市町別間伐実績	58
県行造林	
1 契約種別県行造林地面積	59
2 市町別県行造林地面積(林業指導センター 所管を除く)	59
3 県行造林地の伐採面積の推移	59
林産物生産	
1 林業粗生産額及び生産林業所得(山口県全体)	60
2 木材	60
(1) 木材の需給	60
ア 材種別素材供給量の推移	60
イ 用途別素材生産量の推移	60
ウ 市町別素材生産量	61
エ 樹種別素材生産量の推移	62
オ 用途別素材入荷量の推移	62
カ 県別素材移入量	64
キ 県別素材移出量	64
ク 移入県別国産材・外材別製材品移入量	64
ケ 移出県別国産材・外材別製材品移出量	64
(2) 木材関連産業	66
ア 製材用動力の出力階層別工場数の推移	66
イ 製材工場実態の推移	66
ウ 国産材・外材製材工場数及び素材入荷量の推移	66
エ 製材用素材の国産材・外材別入荷量の推移	67
オ 製材工場の製材品出荷量の推移	67
カ 木材チップ工場数及び木材チップ生産量	68
キ 木材市売市場の現況	69
(3) 木材の市況	70

3	特用林産物	71
(1)	特用林産物生産量の推移	71
(2)	しいたけ	72
ア	種類別しいたけ生産量	72
(3)	竹材	72
ア	県別竹材移出量	72
(4)	特用林産物の市況	73
(5)	特用林産関連事業作業路開設状況	73
(6)	市町別特用林産物生産量	74
	林業構造改善	
1	林業・木材産業等振興施設整備交付金事業	76
(1)	事業の推移	76
(2)	事業実績	77
ア	事業実績	77
イ	市町又は地域別実績	77
	森林組合	
1	森林組合の現況	78
(1)	森林組合連合会	78
ア	機構(平成19年4月1日現在)	78
イ	会員及び出資金の推移	78
ウ	主要事業取扱量の推移	78
(2)	森林組合	79
ア	経営体制の推移	79
イ	主要経済事業の推移	80
ウ	財務状況の推移	81
エ	作業班員の推移	81
オ	森林組合の推移	82
カ	市町別森林組合の現況	82
(3)	生産森林組合	84
ア	生産森林組合の推移	84
イ	市町別生産森林組合の現況	84
	林業金融	
1	農林漁業信用基金出資及び債務保証額の推移	86
(1)	出資	86
(2)	債務保証額	86
2	農林漁業金融公庫資金融資実績の推移(林業関係)	86
3	林業改善資金 / 林業・木材産業改善資金	87
	森林被害	
1	森林国営保険契約の推移	88
2	森林国営保険損害てん補状況の推移	88
3	森林火災被害状況の推移	89
4	主な森林病虫獣害の被害状況の推移	89
5	森林病虫獣害の発生及び防除状況(国営、補助対象事業のみ)	90
6	市町別松くい虫被害及び防除状況(補助対象事業のみ)	91

林業普及		
1	林業普及指導員の配置状況	92
2	林業普及指導員の活動状況	92
	(1) 手段別活動状況	92
	(2) 科目別活動状況	92
3	山村中堅青年の養成状況	93
	(1) 林業教室	93
	(2) 山村青年グループ 活動促進対策	93
	(3) 林業グループ 数及び会員数	93
	(4) 指導林業士及び青年林業士の認定状況	93
4	林業機械器具現況表	94
林道		
1	林道の現況	95
	(1) 林道の現況	95
	(2) 市町別林道の現況	96
2	林道事業の推移	100
3	林道災害復旧事業の経過	102
4	林道事業実績	103
	(1) 民有林林道開設事業	103
	(2) 道整備交付金事業(林道舗装)	103
	(3)-1 単県農山漁村整備事業(小規模林道開設)	104
	(3)-2 単県農山漁村整備事業(小規模林道改良)	104
	(4) ふるさと林道緊急整備事業	105
	(5) 緑資源幹線林道	105
	(6) 林道災害復旧事業	105
治山		
1	民有林治山事業の推移	106
2	市町別民有林治山事業実績	111
保安林		
1	保安林の種類別面積の推移	114
2	市町別種類別保安林面積	116
林地開発		
1	林地開発許可状況	118
2	森林保全巡視状況	118
自然保護		
1	緑地環境保全地域指定状況	119
2	自然記念物指定状況	119
鳥獣保護		
1	鳥獣保護区等の設定状況	120
	(1) 鳥獣保護区	120
	(2) 特別保護地区	120
	(3) 休猟区	120
	(4) 銃猟禁止区域	120
	(5) 狩猟鳥獣の捕獲制限及び猟法の制限区域	120

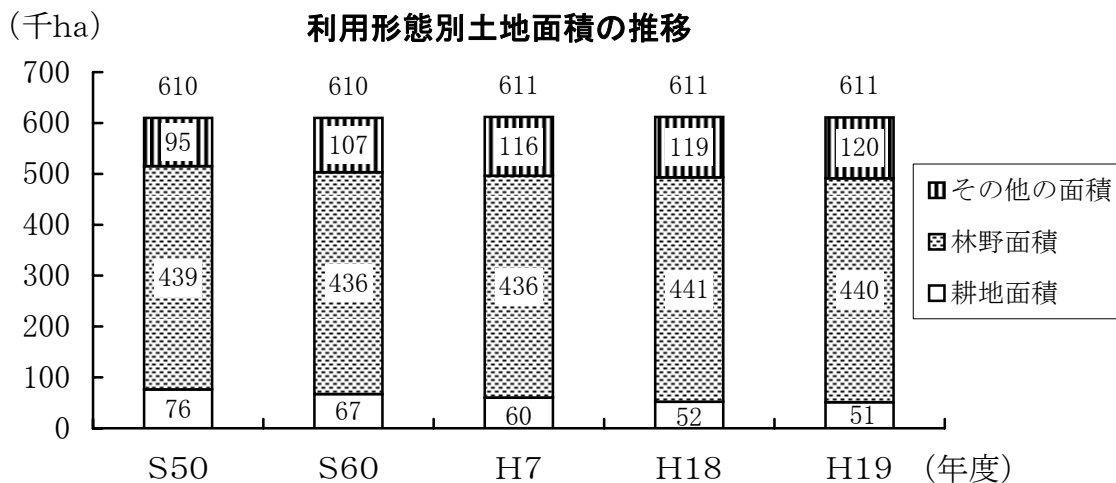
(6) 種類別農林事務所別明細	-----	121
ア 鳥獣保護区	-----	121
イ 特別保護地区	-----	121
ウ 休猟区	-----	121
エ 銃猟禁止区域	-----	121
オ 狩猟鳥獣の捕獲制限及び猟法の制限区域	-----	122
カ 猟区	-----	122
2 狩猟免許等交付状況	-----	122
(1) 狩猟者登録	-----	122
(2) 手数料(再交付を含む)	-----	122
3 狩猟者登録により捕獲された主な鳥獣	-----	123
(1) 鳥類	-----	123
(2) 獣類	-----	123
4 知事の捕獲許可による捕獲鳥獣	-----	123
(1) 有害鳥獣	-----	123
ア 鳥類	-----	123
イ 獣類	-----	123
(2) 飼養捕獲	-----	124
5 鳥獣飼養状況調	-----	124
6 猟区の成績	-----	124
7 主たる法令違反調	-----	124
自然公園		
1 公園名称別市町別種類別面積	-----	125
2 自然公園内施設整備状況	-----	126
(1) 西中国山地国定公園(交付金)	-----	126
(2) 秋吉台国定公園(交付金)	-----	126
研究・研修等		
1 試験研究実績	-----	127
(1) 試験研究課題	-----	127
(2) 試験研究実績の発表	-----	127
2 研修実績	-----	128
3 研究及び事業成果の普及指導状況	-----	128
4 林木育種事業実績	-----	129
緑化技術指導		
1 緑化樹の養成・出荷実績	-----	130
2 緑化技術の普及指導状況	-----	130
林務関係行政機構		
1 本庁	-----	131
2 出先	-----	131
3 その他	-----	131
4 職員配置状況調	-----	132
平成19年度決算額	-----	133

山口県森林・林業の概要

1. 森林資源の現況

(1) 土地利用 (関連資料P21)

本県の林野面積は、440千haで、総土地面積611千haの72%を占め、林野率は全国平均を上回っている。



林野面積と林野率

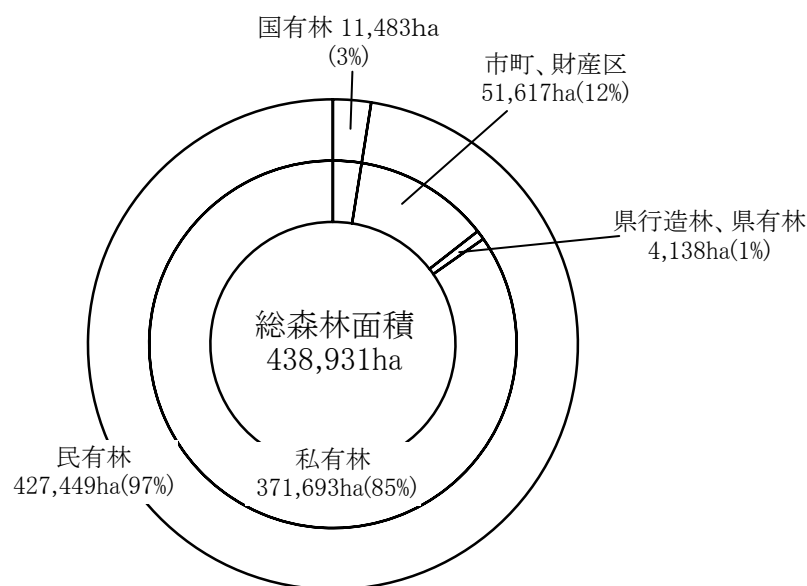
区分	山口県	全国
林野面積	440千ha	24,861千ha
林野率	72%	67%

(資料) 全国は2005年農林業センサス

(2) 経営形態別森林面積 (関連資料P22)

経営形態別は民有林が97%を占め、国有林は3%である。また、私有林は85%を占める。

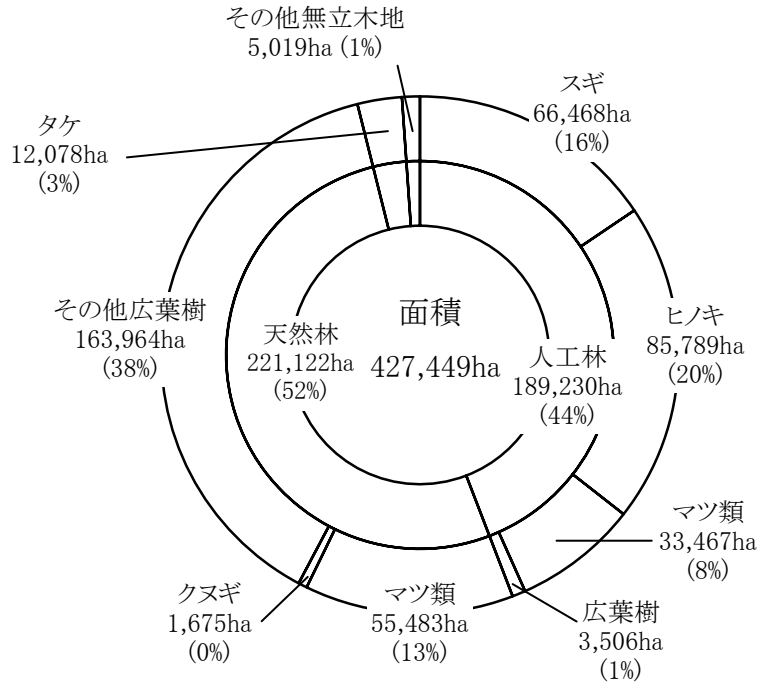
経営形態別森林面積



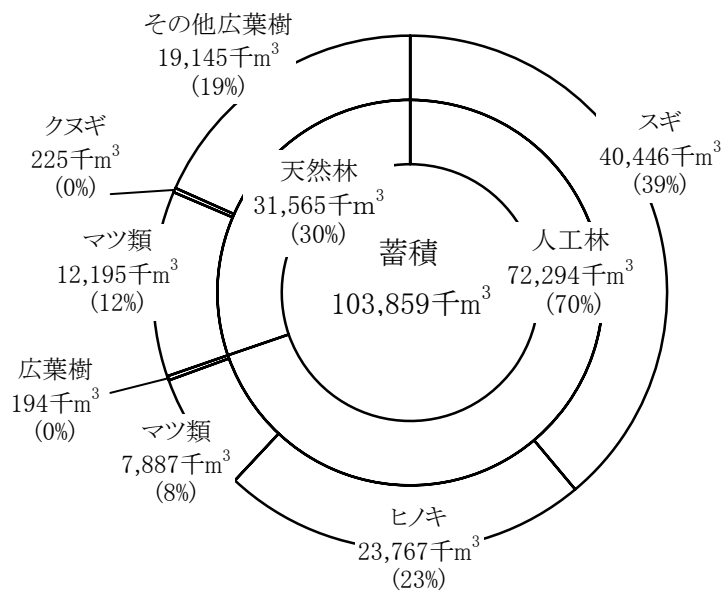
(3) 民有林の樹種別面積と蓄積 (関連資料P24)

樹種別面積構成は、針葉樹が56% (スギ16%、ヒノキ20%、マツ類21%)、広葉樹39%、竹林等が4%であり、また天然林、人工林比較では、人工林が44%である。
 樹種別蓄積構成は針葉樹81% (スギ39%、ヒノキ23%、マツ類20%)、広葉樹18%の割合である。

樹種別森林面積

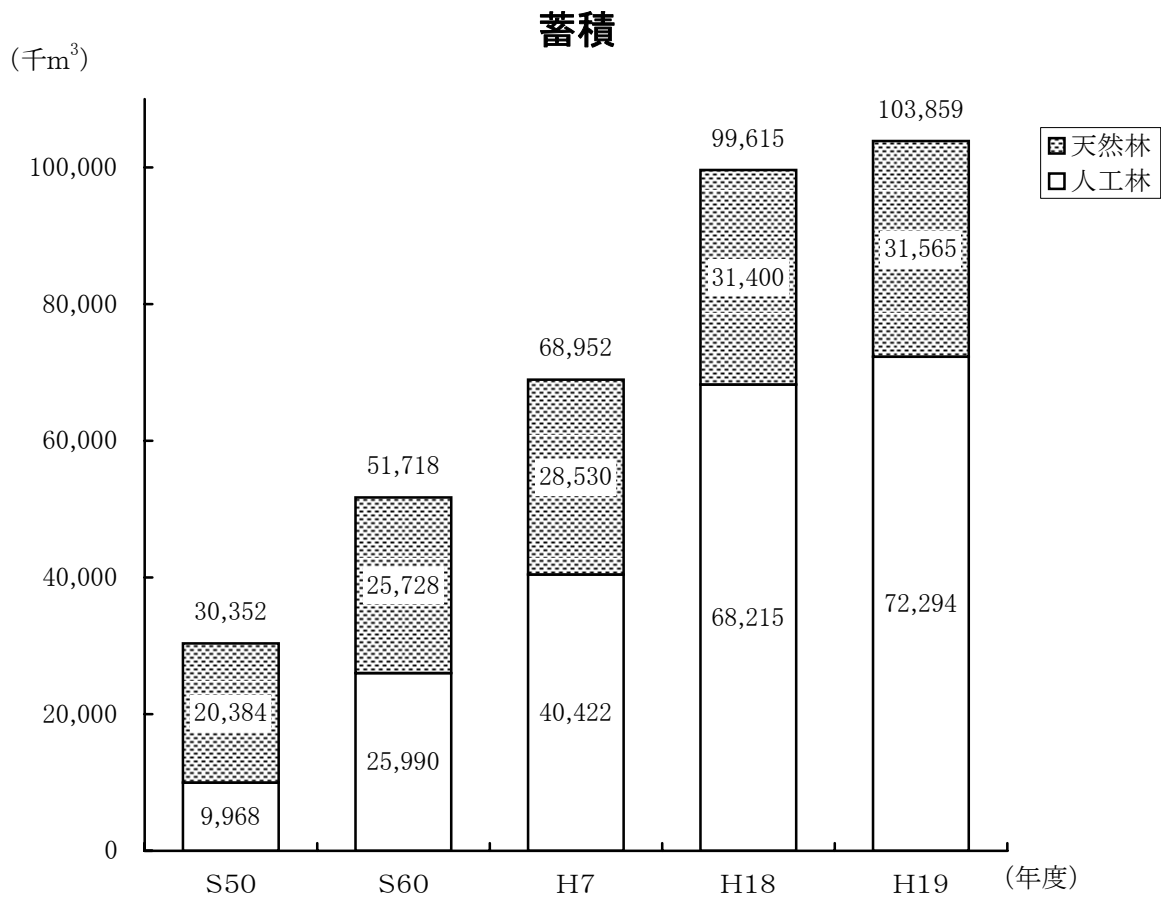
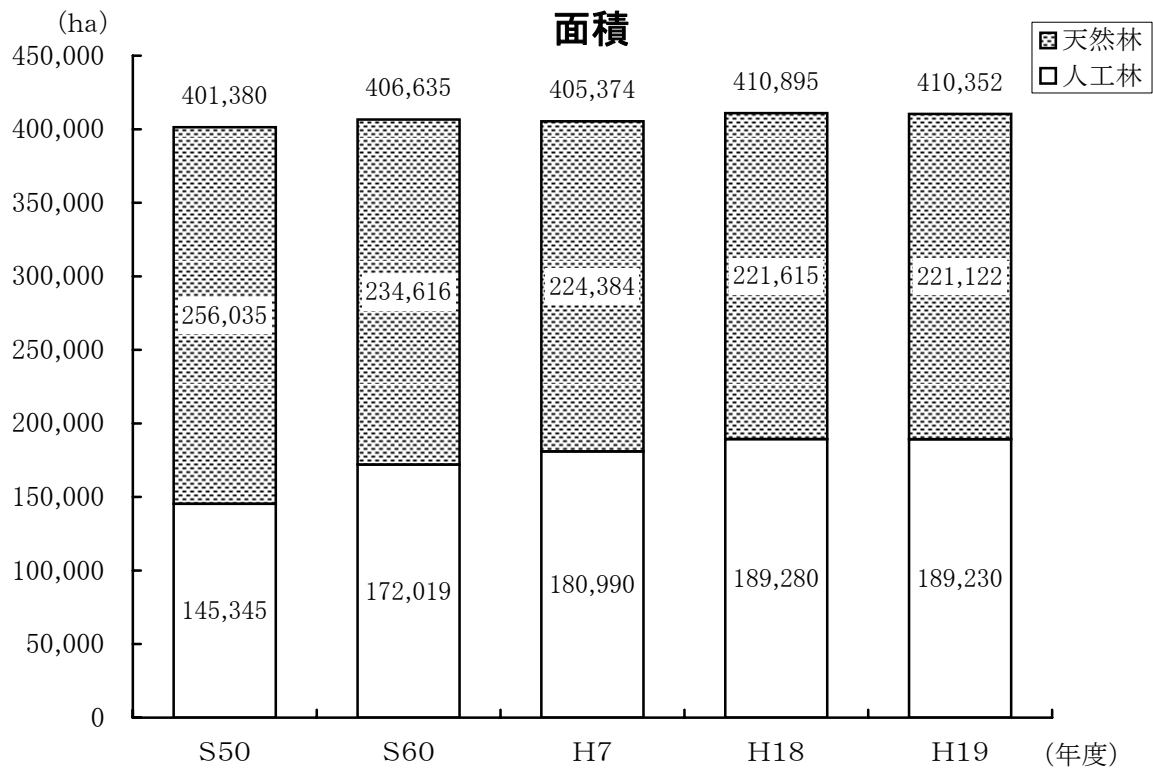


樹種別森林蓄積

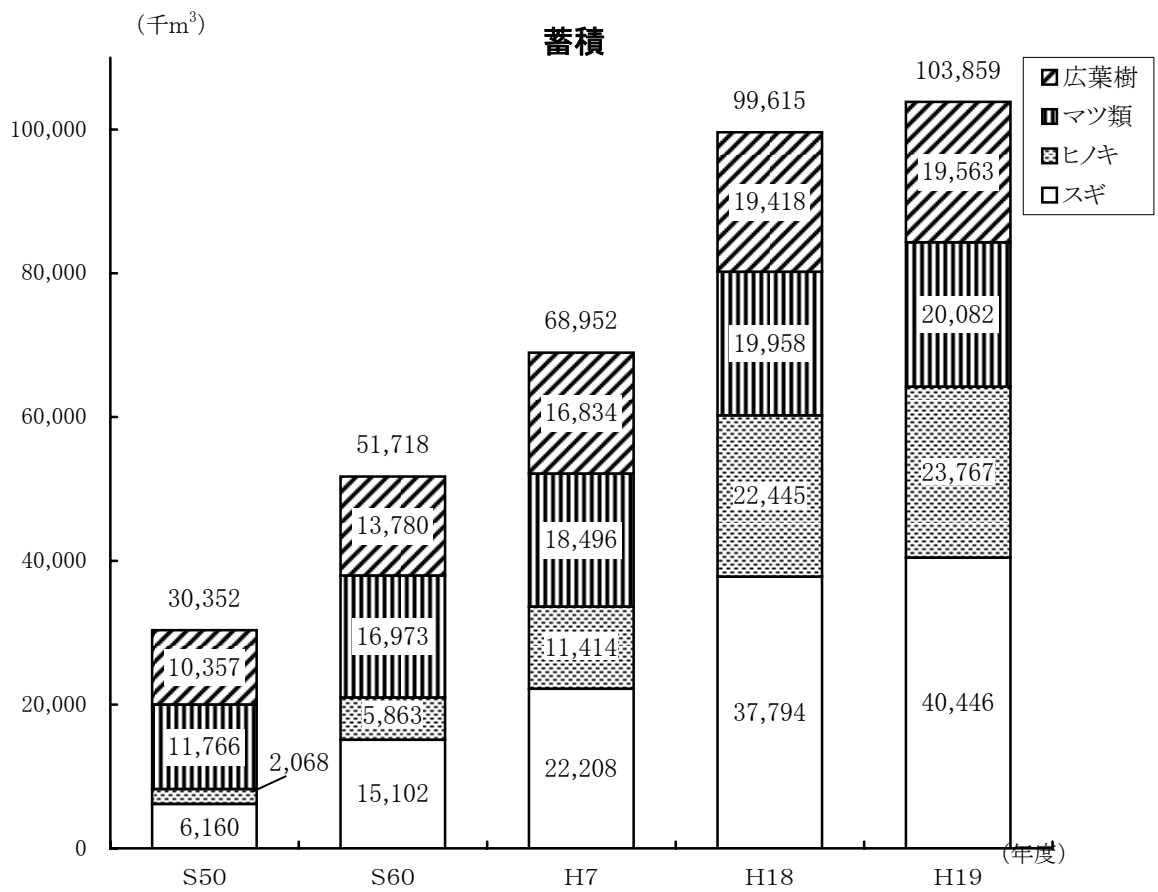
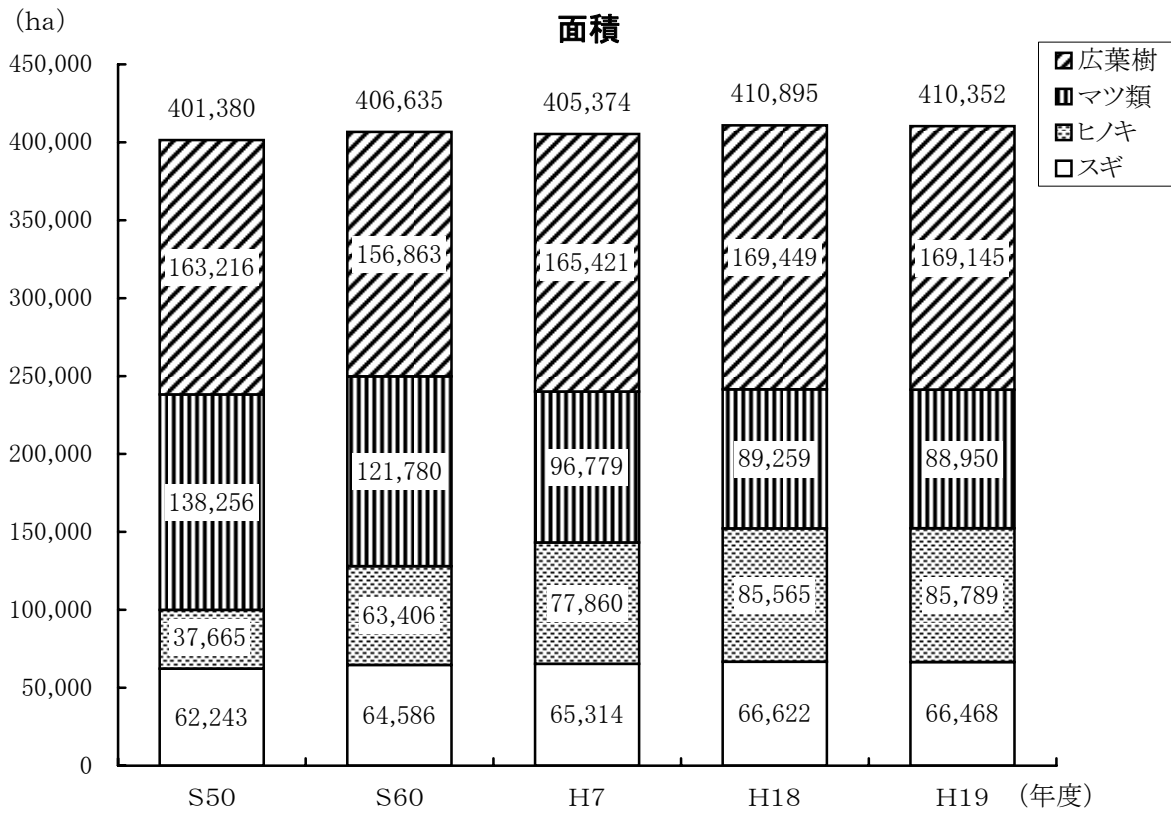


(4) 森林面積と蓄積の推移 (関連資料P24)

ア 人天別森林面積及び蓄積

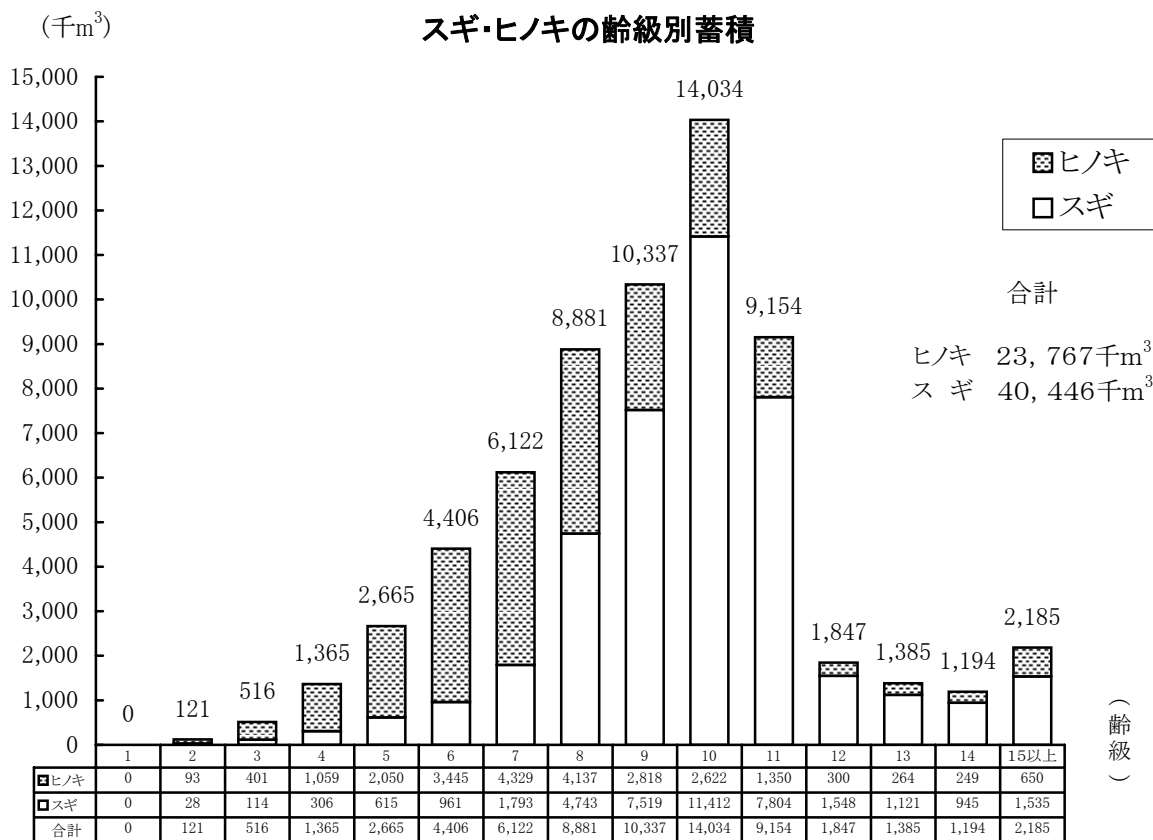
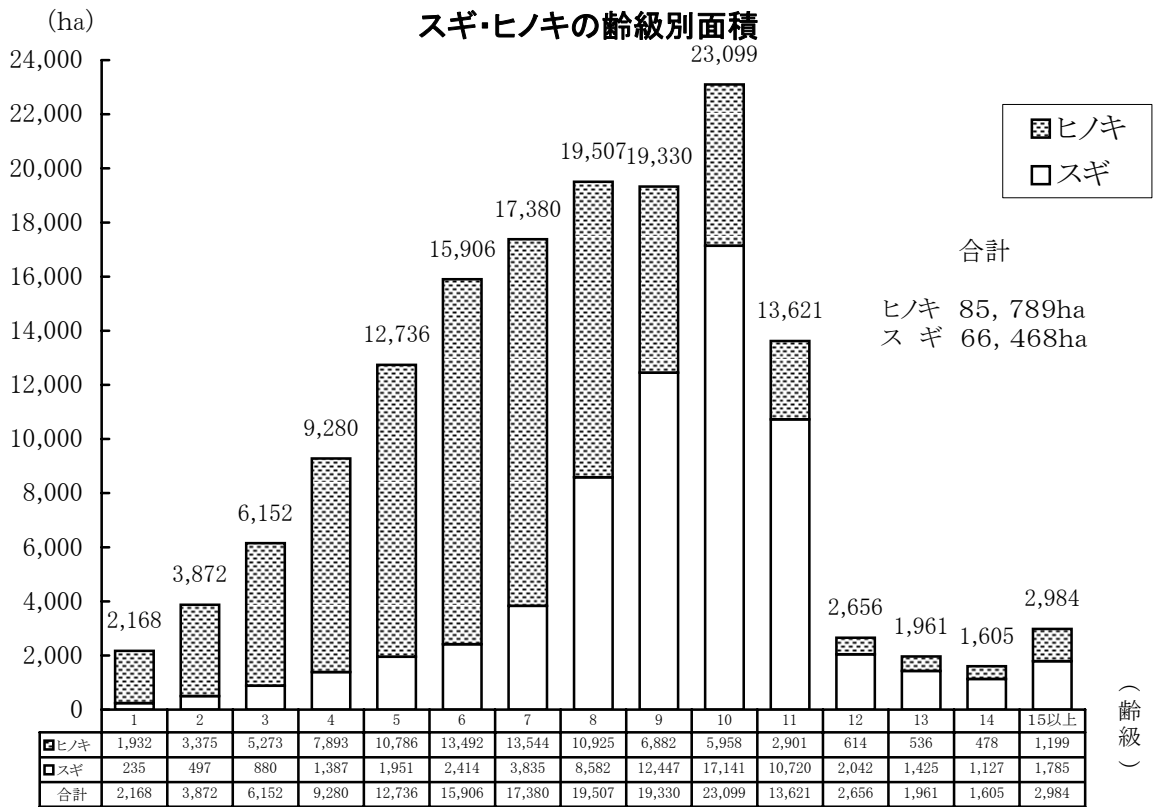


イ 樹種別森林面積及び蓄積



(5) 人工林(スギ・ヒノキ)の齢級構成 (関連資料P28)

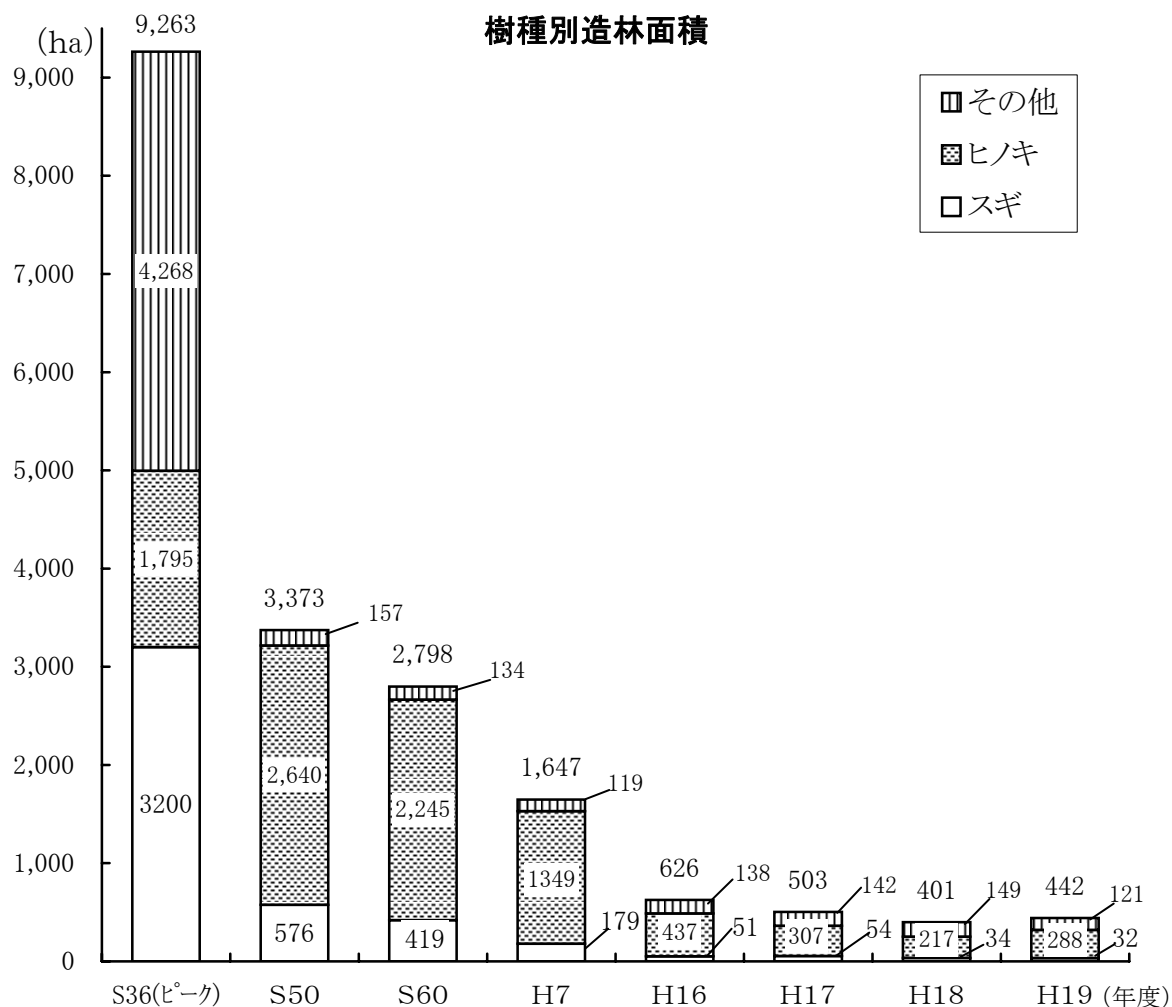
人工林(スギ・ヒノキ)の齢級構成は、保育間伐等手入れを必要とする7齢級(35年生)以下の森林面積が44%を占めている。



2. 造林等

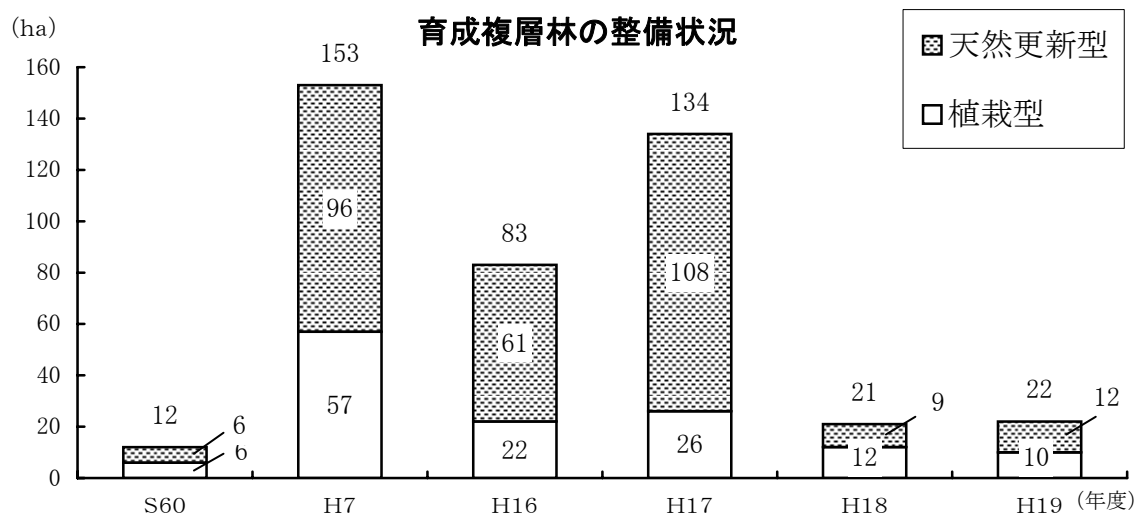
(1) 造林（関連資料P41）

造林面積は、昭和36年度の9,263haをピークに減少傾向にある。造林樹種は、スギ・ヒノキがその主体を占めている。その他の樹種は、昭和52年度までマツが主体であったが、その後は広葉樹が主体となっている。



(2) 育成複層林の整備（関連資料P52, 53）

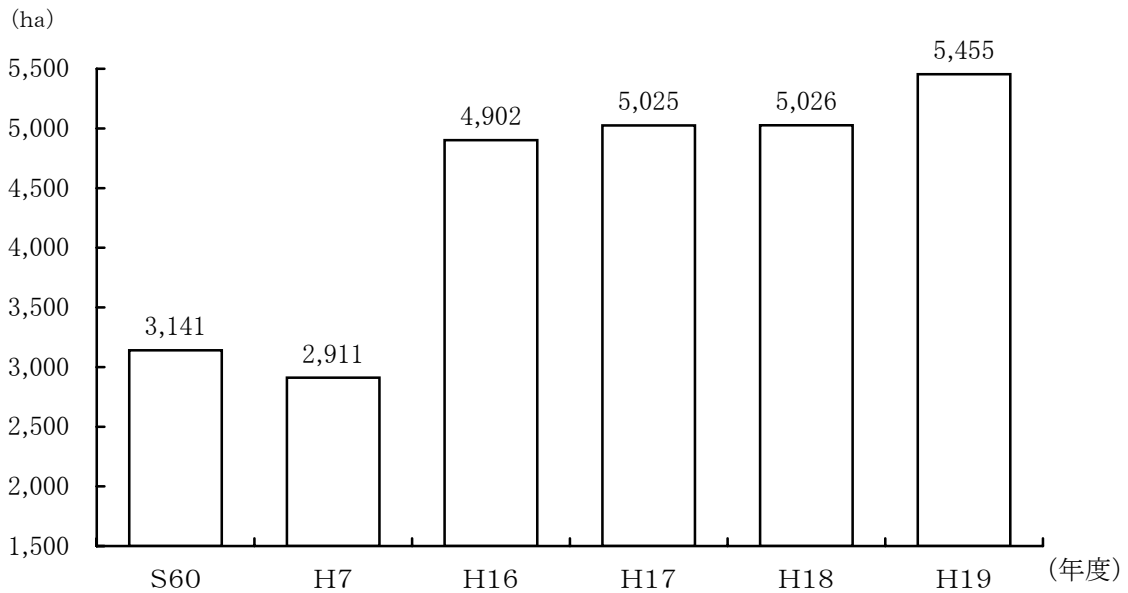
育成複層林の整備は、植栽型と天然更新型により実施している。



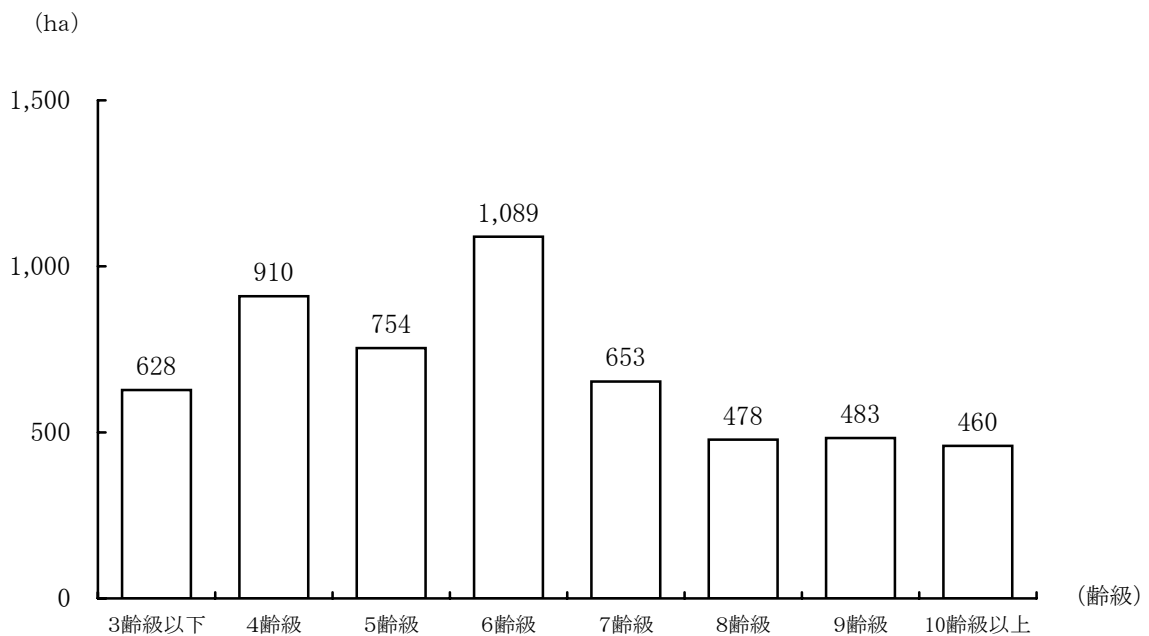
(3) 間伐（関連資料P58, 造林保護班資料）

スギ・ヒノキの人工林のうち、間伐対象の主体となる4齢級から7齢級の森林面積は約55,302haあり、平成19年度は5,455haの間伐を実施している。

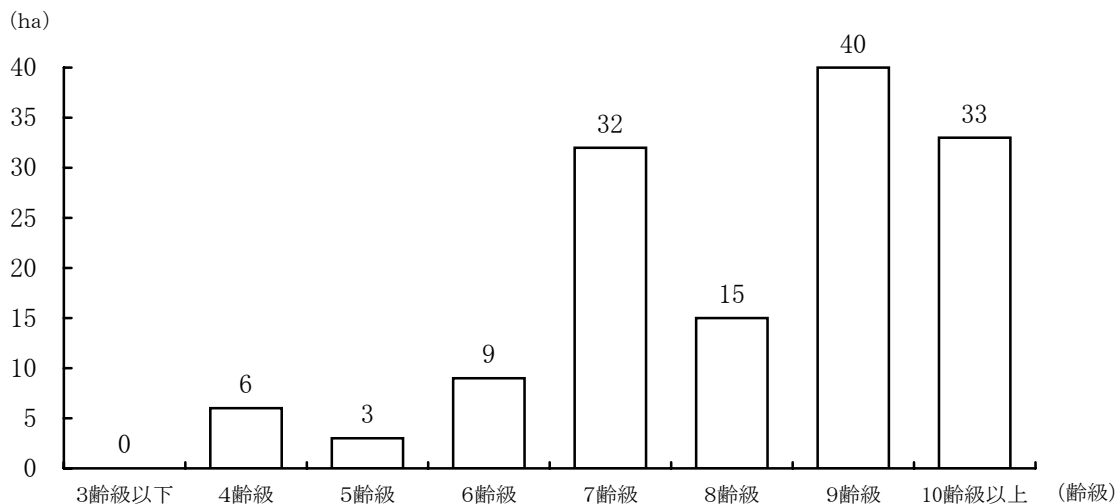
間伐実績の推移



平成19年度 齢級別間伐実績



平成19年度 齢級別搬出間伐実績



3. 林産物生産

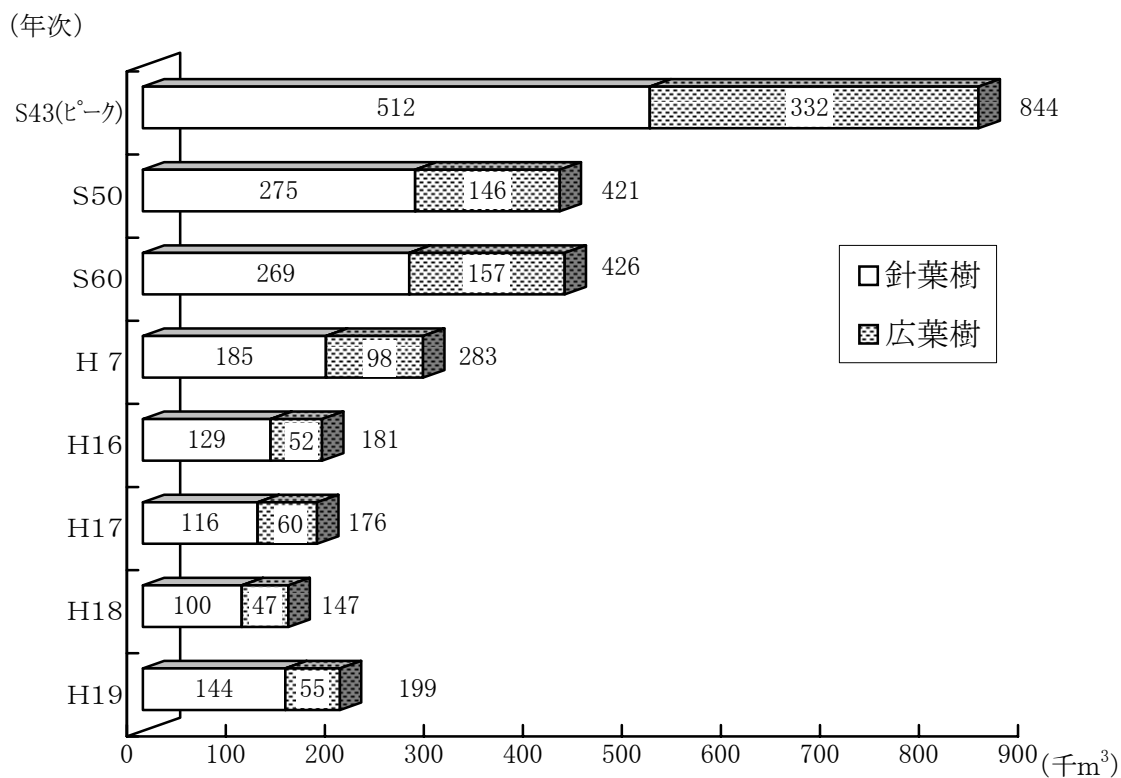
(1) 木材生産 (関連資料P61)

ア 素材生産

素材生産量は、昭和43年の844千 m^3 をピークに大幅に減少し平成8年以降は、ピーク時の3割以下で推移している。

平成18年はピーク時の2割以下にまで落ち込んだが、平成19年においては、針葉樹の素材生産量が144千 m^3 と前年比で44%の増となり、総数においても199千 m^3 と増加した。

素材生産量の推移



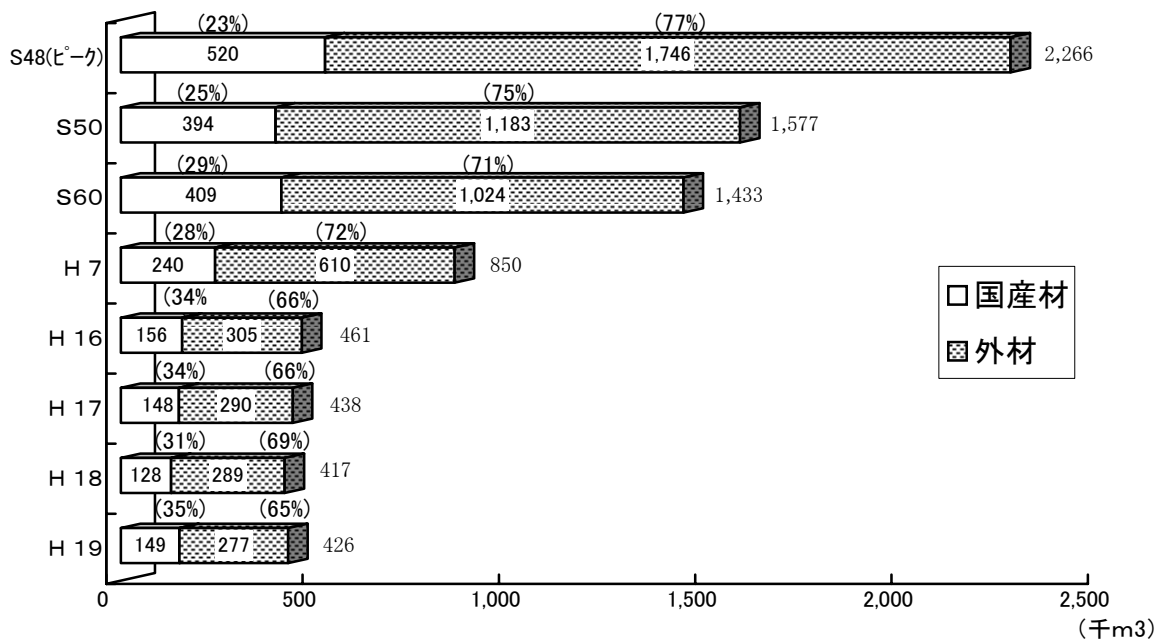
イ 素材供給

素材供給量は、昭和48年の2,266千m³をピークに大幅に減少し、平成17年以降ピーク時の2割以下まで減少している。

国産材、外材別では外材が7割近くを占めており、典型的な外材主導型の需給構造となっている。

(年次)

素材供給量の推移



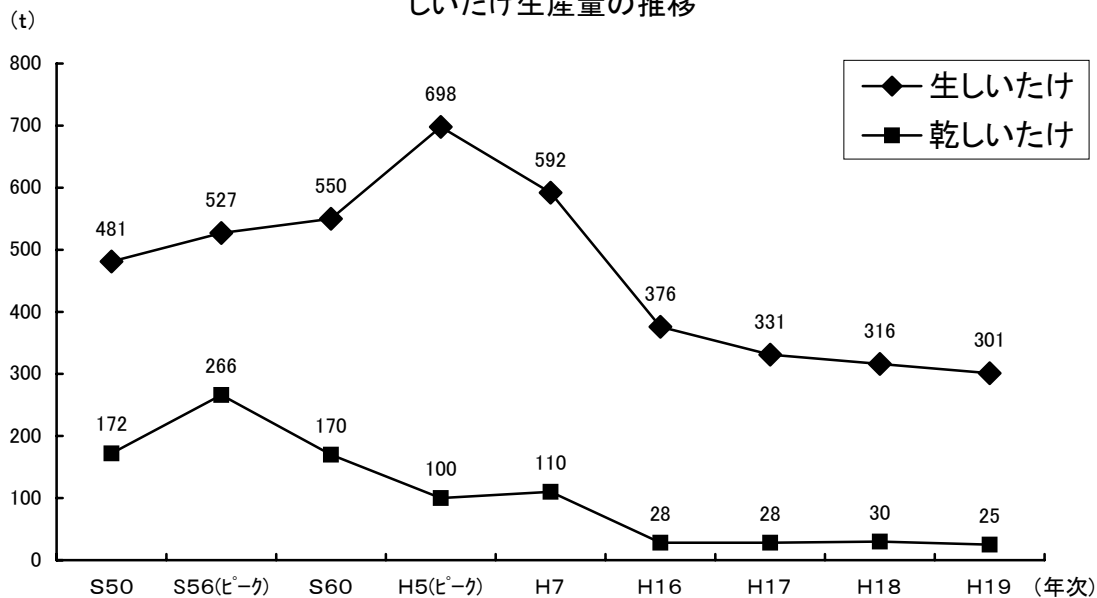
(2) 特用林産 (関連資料P71)

ア しいたけ

しいたけ生産量は、生しいたけが平成5年の698tを、乾しいたけは昭和56年の266tをピークに、大幅に減少している。

生しいたけはピーク時の4割程度まで減少し、乾しいたけにおいてはピーク時の1割程度まで減少している。

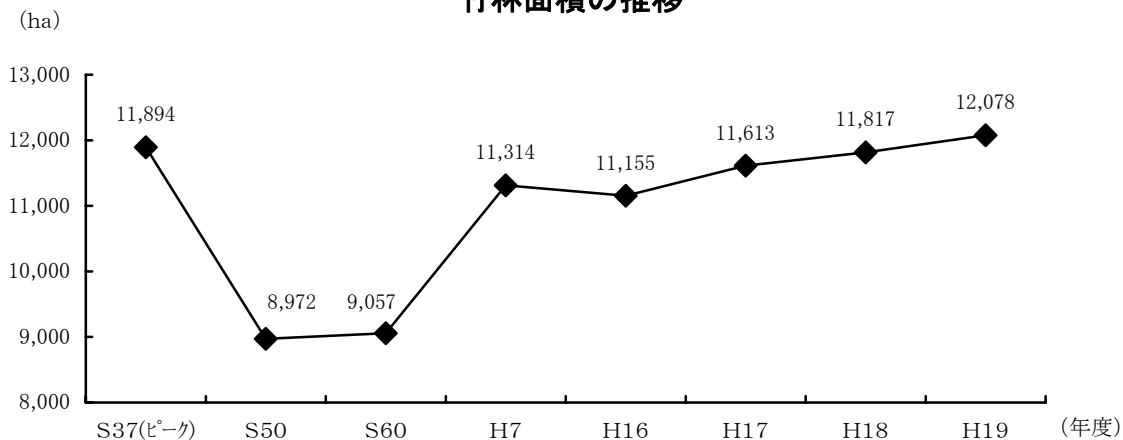
しいたけ生産量の推移



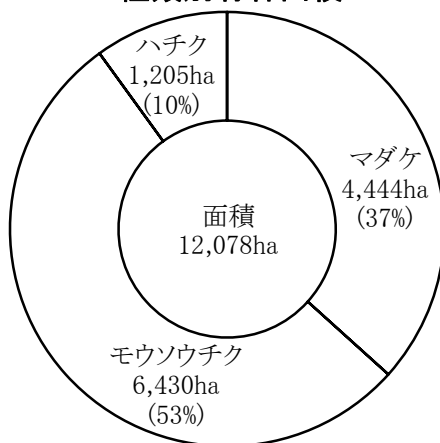
イ 竹林等

竹林面積は、昭和37年度の11,894haをピークとして減少していたが、再び増加傾向にある。

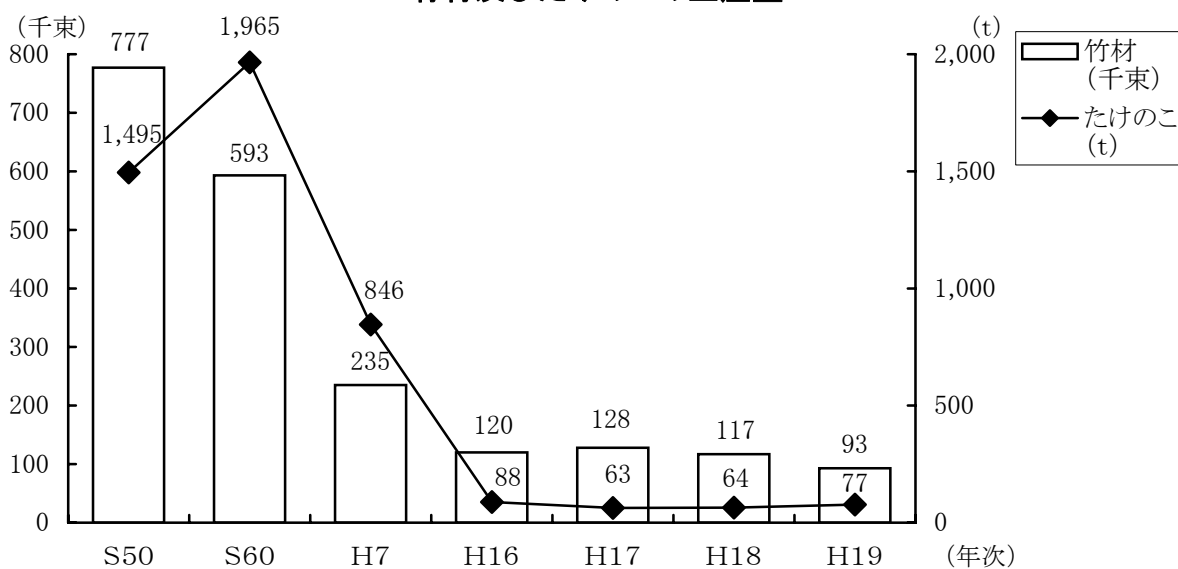
竹林面積の推移



種類別竹林面積



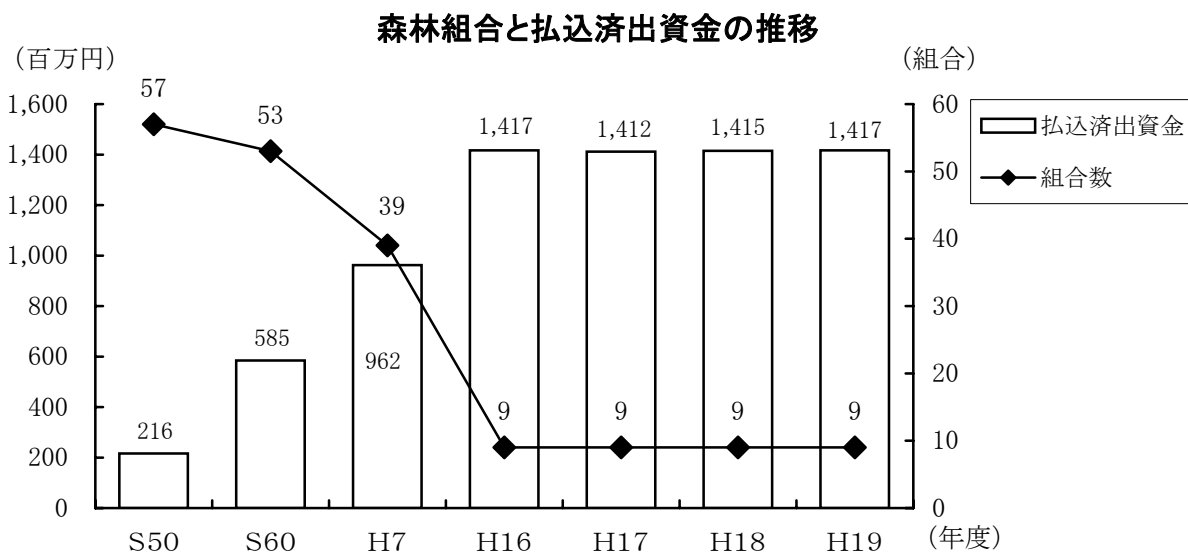
竹材及びたけのこの生産量



4. 森林組合

(1) 森林組合の概況（関連資料P79, 82）

払込済出資金は昭和60年度の2倍を超えるなど資本の充実が進んでいる。



区 分	年 度	S50	S60	H7	H16	H17	H18	H19
森林組合数		57	53	39	9	9	9	9
森林組合員数(人)		55,757	56,695	55,529	52,230	52,134	52,011	51,889
組合員森林所有面積(ha)		304,362	309,398	305,228	306,661	306,105	306,045	304,806
払込済出資金(百万円)		216	585	962	1,417	1,412	1,415	1,417

(2) 木材取扱量（関連資料P82）

木材取扱量は、昭和62年度以降減少傾向にあったが、平成19年度増加に転じた。

